

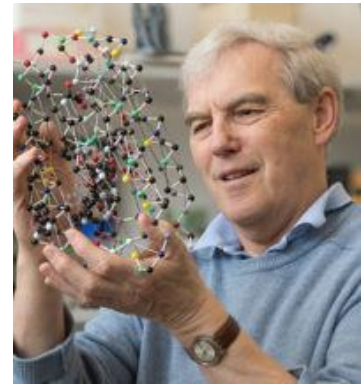
# Richard Henderson 博士の講演会

日時：2018年3月16日（金）14時～15時30分（質疑応答含む）

場所：名古屋大学 坂田・平田ホール（理学南館）

<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/higashiyama/congre.html>

英国ケンブリッジ MRCLMB の Richard Henderson 博士は、Jacques Dubochet 博士と Joachim Frank 博士と共に、2017年のノーベル化学賞を受賞しました。Henderson 博士は、低温電子顕微鏡（CryoEM）分野の総合的な世界のパイオニアで、この分野を牽引してきています。ノーベル賞受賞後初めての来日で、2018年3月16日に名古屋大学を訪問されますので、この機会に講演をお願いしました。それゆえ、



Richard Henderson 博士

## Electron cryomicroscopy in structural biology: progress and prospects.

という題で講演をしていただけます。

CryoEM を用いた単粒子解析法を中心に将来の展望も含めてお話しいただけると幸いです。この稀有な講演会へのご参加を歓迎いたします。

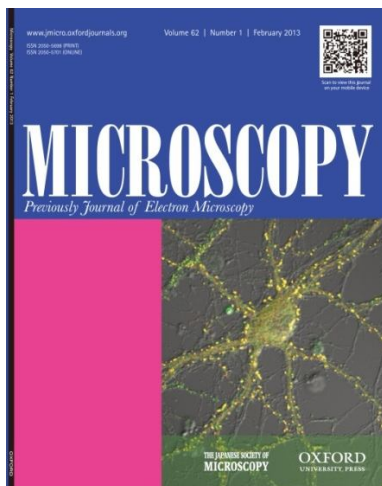
名古屋大学細胞生理学研究所／株式会社 CeSPIA

CeSPI

CeSPIA

藤吉好則

参考



Richard Henderson 博士の Review が *Microscopy* に掲載されています。ぜひお読みください。

Microscopy 62(1)

<https://academic.oup.com/jmicro/issue/62/1>

Richard Henderson, Greg McMullan (2013) Problems in obtaining perfect images by single-particle electron cryomicroscopy of biological structures in amorphous ice. *Microscopy*. 62(1): 43-50. doi: 10.1093/jmicro/dfs094.

<https://academic.oup.com/jmicro/article/62/1/43/1989324>